

## 家庭教育の充実に向けた啓発コンテンツの作成の方向性について

### 1. 啓発コンテンツ作成の目的

全ての家庭が「心の拠り所」として、安心して生活できる環境を整え、深い愛情を持って子どもを温かく育むためには、親の学びのための「家庭教育の手引き」等の啓発コンテンツを作成することが有効と考えられます。

また、家庭の孤立化を防ぎ、地域や社会全体で、家庭教育を応援していくためには、地域や社会の家庭教育支援に対する理解や意識の向上が求められます。

こうしたことから、家庭教育に係る啓発コンテンツを充実させ、子どもたち一人ひとりの「生き抜いていく力」の育成につなげていきます。

### 2. 啓発コンテンツの実例

#### ①学習プログラム（ワークショップ型）【対象：親（子）】

学校、PTA、公民館等などで参加型講座として活用できるコンテンツ。発達段階に応じて分けられているものが多くあります。

（実例）

- ▶ 千葉県版親プロ「きずな」（千葉県）
- ▶ あいちっこ「親の学び」学習プログラム（愛知県）

#### ②学習プログラム（手引き型）【対象：親（子）】

学校、PTA、公民館等などでの配布・説明資料、講演資料、参加型講座の資料として活用できるコンテンツ。

（実例）

- ▶ 家庭教育手帳（文部科学省）
- ▶ 家庭教育支援ガイドブック（新潟県）
- ▶ おおいた「親学のすすめ」読本（大分県）

#### ③啓発リーフレット（手引き型）【対象：親（子）、地域等】

家庭教育のポイントを数ページから8ページ程度のリーフレットにコンパクトにまとめた啓発資料が多くあります。

（実例）

- ▶ 元気な奈良に「家庭教育啓発リーフレット」ならっ子みんなで育てよう（奈良県）
- ▶ パンフレット「親学」（名古屋市）

#### ④その他啓発ツール（募集・宣言型）【親（子）、地域等】

募集を通じた啓発や、一部を家庭で考えて宣言するタイプの啓発ツール

（実例）

- ▶ 十七文字のふれあい事業（俳句募集）（福島県）
- ▶ すくすく育て いばらきっ子かるた（茨城県）
- ▶ 「わが家の約束」実践・宣言カード（岐阜県）
- ▶ 親と子のやくそくカレンダー（山口県）
- ▶ くまもと家庭教育10か条（熊本県）

### 3. 本県における啓発コンテンツの考え方

まずは、各種啓発や研修等に活用可能な普及啓発冊子の作成をめざしていきます（類型①②③）。

作成にあたっては、子どもたちの発達段階に応じ異なる内容とする必要があるため、当面は、就学前の子どもを持つ保護者、小学生の子どもを持つ保護者に焦点をあてて取組を進めていきます。

また、④にあるような「その他の啓発ツール」については、戦略策定の中で検討し、着手できるものから順次取り組んでいきます。